

# 別の顔

放課後は



after

西日本大会では、個人組手で2位、団体は型で2位、組手で3位を獲得することができました。正直、結果にはびっくりしましたが、今までにないくらい練習をして本番に臨んだので、結果がついてきたことがうれしかったです。空手は努力することで技術が上達し、帯

鹿屋東中学校  
甲斐美月さん(3年生)

クラスでは保健班の班長を務め、生徒の健康観察や衛生管理などを担当している。外国語を学ぶことが好きで、「いつか留学して英語を学びたい」と語る。



小学1年生の時に、隣の家に住んでいる年上の女の子が、黒帯を締めて空手に通っているのを「かっこいい」と思い、「常心門」で空手道を習い始めました。昇級審査を重ねて黒帯を取得し、今年の3月に名古屋市中で行われた



school



の色が変わっていくのが魅力。また、礼儀作法について学べるのも大切な要素の一つだと思います。今は志望校に合格するために受験勉強に打ち込む毎日ですが、高校ではさらに多くのことに挑戦できるようにこれからも頑張っていきます。

昔、度尾で起きた出来事にクローズアップ!



## タイムトラベル ~温故知新~

33話

### 都城県度尾



▲都城市役所にある「都城縣廳跡」史跡

江戸時代には、江戸の徳川將軍と主従関係を結んだ地方の大名が領地・領民を支配していました。しかし、明治維新後には既存の権力を解体し中央集権化するため、新政府は明治4(1871)年に「廃藩置県」を行いました。これは日本各地を治めていた藩を廃止し、新たに県を設置する政策ですが、もともとあった藩をほとんどそのまま県に改めたため、日本全国に3府302県が置かれることに。この時、大隅国と薩摩国を有する鹿児島藩は島津忠義を知藩事とした「鹿児島県」となりました。しかし、この廃藩置県によってできた県の管轄地域



▲国境(点線)と改置府県後の県境(赤線)。屋久島・種子島などは鹿児島県に属していたほか、桜島は都城県でした。

は、藩政の支配領域をそのまま引き継いだものであり、藩を解体したものは言えません。また、現在の都道府県よりも細かく分かれていたほか、飛び地も多く、地域としてのまとまりも弱いものでした。そこで明治政府は、同年10月11月にかけて改置府県を実施し、3府72県を設置。これにより、日向国の大淀川以南と大隅国の始羅・肝属・曾於・大隅・菱刈・桑原の6郡で成る「都城県」が誕生し、鹿屋は都城県に属することに。県知事に当たる桂久武が就任し、藩家老である桂久武が就任し、県庁は現在の都城市役所がある場所に置かれました。しかしその後も全国で統合や分割といった県境の調整が続けられ、明治6年に都城県は廃県。鹿屋は鹿児島県の管轄となり、現在に至っています。